



ほ 多 当

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆

～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～

【今月の一冊】 ライオンのおやつ

小川 糸 著 ポプラ社

ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2021年9月1日 Vol. 227

発行元 有限会社プライム・コーポレーション

代表取締役 渡 邊 敏 徳

〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲 147 番地

TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

最後のおやつ

2020年の本屋大賞2位となった、小川糸さんの『ライオンのおやつ』が、NHKのプレミアムドラマにて放送されました。

未来のことは誰にも予想できないことですが、今まさにコロナウイルスが世界中を震撼させています。誰がこんなことを予想できただろうか。「死」というものへの不安や恐怖心、「生」へのこだわりや執着心を考える機会がこんなにも身近に起こるとは思いもよらないことでした。私自身本当に驚いています。インフルエンザの予防接種を一度も受けたことのない私が、今回ばかりはコロナのワクチン接種を選択しました。

ドラマの中で「人生の最後に食べたいおやつは何ですか」。若くして余命を告げられた主人公は、瀬戸内の島のホスピスで残りの日々を過ごすことを決め、穏やかな景色の中本当にしたかったことを考えるようになります。

ホスピスのライオンの家では、毎週日曜日の午後3時から、入居者が生きているうちにもう一度食べたい思い出のおやつをリクエストできる『おやつの時間』があり、希望者は希望するおやつとそれにまつわるエピソードなどを紙に記入して専用BOXへ投函します。採用はホスピスのマドンナによるくじ引きで、当日まで当選者には知らされません。

主人公はなかなか選べずにいました。「最後の晩餐」という話は聞いたことがありますが、「人生の最後に食べたいおやつは何ですか」と聞かれ、みなさんはどんなおやつを思い浮かべるでしょうか。私も少し考えてしまいます。ドラマの中にもありましたが、自分の人生をふり返っていく中で、誰の人生にも“輝き”や“祝福”が必ずあることに気づき、大切にしたい思い出をひとつひとつ紐解いていくことで思い出のおやつを選んでいくんだとわかりました。

私自身も残り時間がだんだん少なくなってゆく人生の中で、自分自身の人生をどんな終止符で飾ろうかと考えてしまいます。すべての人にいつか訪れることをあたたかく描き出す今が愛おしくなるドラマでした。

コロナ禍で毎日が悶々とする時間を過ごさなくてはなりませんが大切な人たちと出会うことができた、生まれてきてよかったと思える様に、悔いのない時間を過ごしていきたいと思います。



Good Vision Good Company

若者の意識

2019年9月下旬～10月上旬に「18歳意識調査」を、インド、インドネシア、韓国、ベトナム、中国、イギリス、アメリカ、ドイツ、そして日本の17～19歳、各1,000人を対象に「国や社会に対する意識」を日本財団が実施しました。

結果を見てみると「将来の夢を持っている」について、他国が「すべて80%以上」の中で日本は60.1%、「自分で国や社会を変えられると思う」も他国に比べ突出して低い18.3%（アメリカ65.7%）というものでした。

また「自分の国の将来は良くなる」と答えたのはわずか9.6%（中国96.2%）など驚くべき数字となりました。さらに「自分を大人」「責任ある社会の一員」と考えている日本の若者は約30～40%と、他国の3分の1から半数近くにとどまり、「将来の夢を持っている」「国に解決したい社会課題がある」との回答も、他国に比べ30%近く低い数字となっていました。「自分で国や社会を変えられると思う」は5人に1人、日本以外ではもっとも低い韓国と比べても半数以下であった。

来年の2022年4月には成人年齢が18歳に引き下げられます。若者が若者らしく、これからの生き方の「意味」をどう見出していくのか。これからの時代を創り支えていくのは今の若者なのだから・・・。



【座右の銘にしたい名言】



過去から学び、今日のために生き、未来に対して希望をもつ。

大切なことは、何も疑問を持たない状態に陥らないことである。

(アインシュタイン/理論物理学者、ノーベル物理学賞受賞者)